

科目名	応用国語	単位数	2単位	実施予定授業数	70時間
-----	------	-----	-----	---------	------

#### ☆学習の到達目標

学習の到達目標	知識及び技能 国公立大個別試験レベルの説明的文章及び文学的文章の読解に必要な知識や技能を身に付けるようにする。
	思考力・判断力・表現力等 古典の文・文章の構成や表現上の工夫・特徴に気づき、段落や文章全体の趣旨を的確に捉え、またそれを文章の形で適切に表現できるようにする。 学びに向かう力、人間性等 日本人の伝統的な思考のあり方や表現について考え、それらを味わい尊重する態度を育てる。
使用教科書・副教材等	アップリフト 古文 入試基本 [改訂第4版] アップリフト 古文 入試標準 [改訂第4版]

#### ☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価基準)	時数
第1学期	伊勢物語 栄花物語 徒然草 大和物語	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ] 主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	4
	九州の道の記 太平記 春日権現記	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ] 主体的に学習に取り組む態度 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	5
	しのびね物語 建礼門院右京大夫集 俊頼髄脳	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ] 主体的に学習に取り組む態度 県の人々が陳寔のどのような人柄に感銘を受けたかについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	4
	1学期中間考査			
	西行物語 土佐日記 弁慶物語	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ] 主体的に学習に取り組む態度 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	4
	十訓抄 唐崎物語 勢語臆断	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 [A(1)エ] 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く引き歌の効果について考察し、今までの学習を生かして調べたことをまとめようとしている。	5
	沙石集		知識・技能	

	徒然草 古本説話集	7	<p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 本文中の漢詩にあらわされた崔護の心情について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	4
	1学期期末考査			
【知識・技能】		定期テスト・小テストにより評価する。		
【思考・判断・表現】		定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。		
【主体的に学習に取り組む態度】		課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。		
【1学期の評価方法】		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。		

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時数
第2学期	花月草紙 宇治拾遺物語 菅笠日記	8	<p>知識・技能 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ア〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の行動や心情をとらえて内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	4
	井蛙抄 発心集 大鏡	9	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔A(1)キ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 継子いじめの物語について積極的に調べ、学習課題に沿ってまとめようとしている。</p>	5
	無名草子 俊頼髄脳 大鏡	9	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 末尾の「天道是邪非邪」という表現にこめられた司馬遷の思いについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	4
	2学期中間考査			
	宇治拾遺物語 源氏物語 柴門の辞	10	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の行動や心情をとらえて内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	4
	宇治拾遺物語 百人一首一話 平家物語	10	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って俊恵の主張を説明しようとしている。</p>	5
	玉勝間 平家物語		知識・技能	

	平中物語 唐子道の記	10	<p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ]</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 [A(1)エ]</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>柳宗元がこの文章を執筆した動機について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	4
	小夜衣 枕草子 狭衣物語	11	<p>知識・技能</p> <p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ]</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ]</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>漢詩の詩型・押韻・対句について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	4
	伊勢物語 更級日記 無名抄	11	<p>知識・技能</p> <p>古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 [(1)ア]</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 [A(1)キ]</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>日本文化にも影響を与えた中国の風習について、積極的に考察しようとしている。</p>	5
2学期期末考查				
【知識・技能】		定期テスト・小テストにより評価する。		
【思考・判断・表現】		定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。		
【主体的に学習に取り組む態度】		課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。		
【2学期の評価方法】		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。		

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価基準)	時数
第3学期	撰集抄 うつほ物語 蜻蛉日記	12	<p>知識・技能</p> <p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ]</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ]</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って筆者の主張を説明しようとしている。</p>	4
	六百番歌合・六百番 陳状 栄花物語 宗祇終焉記 横笛草紙	2	<p>知識・技能</p> <p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ]</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ]</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>積極的に登場人物の行動や心情をとらえて内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	5
【知識・技能】		定期テスト・小テストにより評価する。		
【思考・判断・表現】		定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。		
【主体的に学習に取り組む態度】		課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。		
【3学期の評価方法】		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。		
【年間の学習状況の評価方法】		各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ総括して、5段階評定とする。		